

本好きに送る「電子書籍の作り方」講座

誰でも 簡単に 手作り 電子書籍

2014-03-02

電子書籍づくり実践（EPUBの構造 xhtmlとcss）

このブログでは、前々回のエントリまで数回に渡り

1. 文章にタグ付けをし
2. 用意したEPUBテンプレートにコピペし
3. その内容をブラウザで表示確認をする

という作業をして来ました。

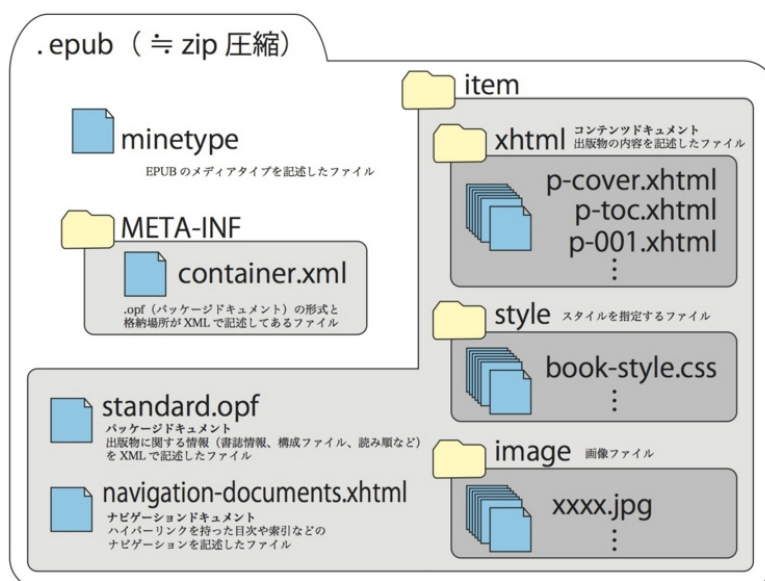
今回はそこで使った「テンプレート」を通して、EPUBの構造を学んでおきましょう。「構造」などというとなんとなく難しく聞こえますが、押さえておくのは下記の点だけです。

.epubとは

- 必要なファイル類を
- 定められたフォルダ構成に従って配置し、
- 圧縮したもの。

以上です。

その構造を絵的に表すと下記の通りになります。



Profile

[k-airyuu](#)

IT・電子書籍周辺でお仕事してるアナログ人間。電子書籍を「作る側」から広めたい派。

読者になる

12

このブログでは

シンプルなEPUBデータを作る手順を順を追って説明しています。

ブログ目次は[こちら](#)

このブログで制作方法を紹介したEPUBデータを下記よりダウンロードできます。（随時更新）

リフロー型は[こちら](#)

ご質問・問い合わせ歓迎です。

お問い合わせは[こちら](#)

最新記事

[固定型EPUBを簡単ににつくれるツールをつくってみた。](#)

[音声付き電子書籍を作る \(Radium用\)](#)

[音声付き電子書籍を作る \(iBooks用_4\)](#)

[音声付き電子書籍を作る \(iBooks用_3\)](#)

[音声付き電子書籍を作る \(iBooks用_2\)](#)

[音声付き電子書籍を作る \(iBooks用_1\)](#)

テンプレートとして、既にこの構造になっているデータ*1があるわけですから、特にこの構造を覚えるたりとか、イチから自分で作ったりする必要もありません。現時点で押さえておきたいのは

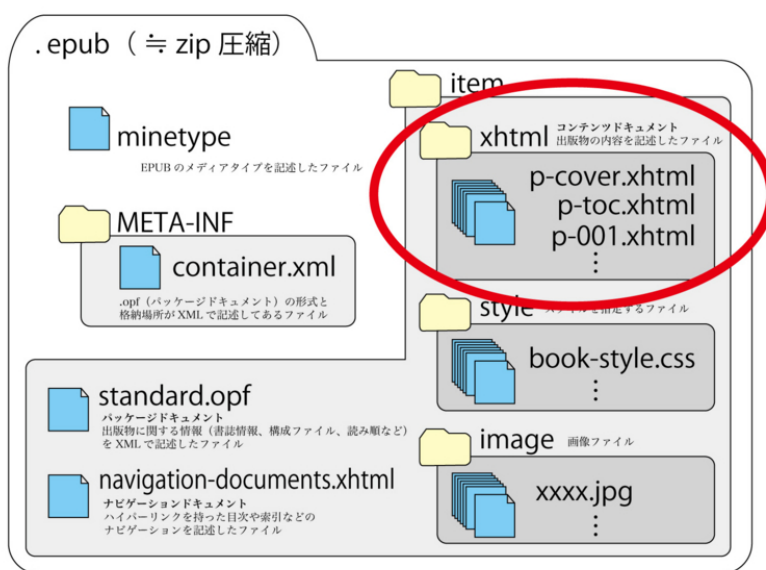
- テンプレートのどこに手を入れる必要があるか？
- その部分はどんな動きをしているのか？

という点だけです。

それではEPUBを構成する「中身」を見ていきましょう。
ここからは書かれる文字を追うだけでなく、前々回使ったテンプレートを開いて、内容を対比させながら読み進めると理解しやすいと思います。

xhtmlファイルは「本の中身」（xhtmlフォルダ）

電子書籍づくりで一番たくさんの手を入れるのが、xhtmlフォルダの「ページファイル（拡張子.xhtml）」です。



このファイルに、電子書籍で表示させたい内容を書き込みます。書き込むルールはhtmlが進化したxhtmlという記述言語です。*2

cssで「見た目」をコントロールする（styleフォルダ）

xhtmlフォルダと同じ階層に「style」という名前のフォルダあります。

[緊デジを振り返りながら：2](#)

[緊デジを振り返りながら](#)

[電子書籍に向いてるコンテンツ](#)

[Kindle用電子書籍データの作り方](#)

[このブログの目次をつくりました](#)

[つくったEPUBを表示する](#)

[電子書籍づくり実践（圧縮とエラー確認）](#)

[電子書籍づくり実践（書誌情報を書く）](#)

[電子書籍づくり実践（本文ファイルを分割する）](#)

[電子書籍づくり実践（EPUBの構造 目次を作る2）](#)

[電子書籍づくり実践（EPUBの構造 目次を作る1）](#)

[電子書籍づくり実践（EPUBの構造 xhtmlとcss）](#)

[電子書籍づくり実践（トラブル対応）](#)

[電子書籍づくり実践（表示確認。その方法）](#)

月別アーカイブ

▶ [2015 \(1\)](#)

▼ [2014 \(29\)](#)

[2014 / 11 \(1\)](#)

[2014 / 10 \(4\)](#)

[2014 / 5 \(2\)](#)

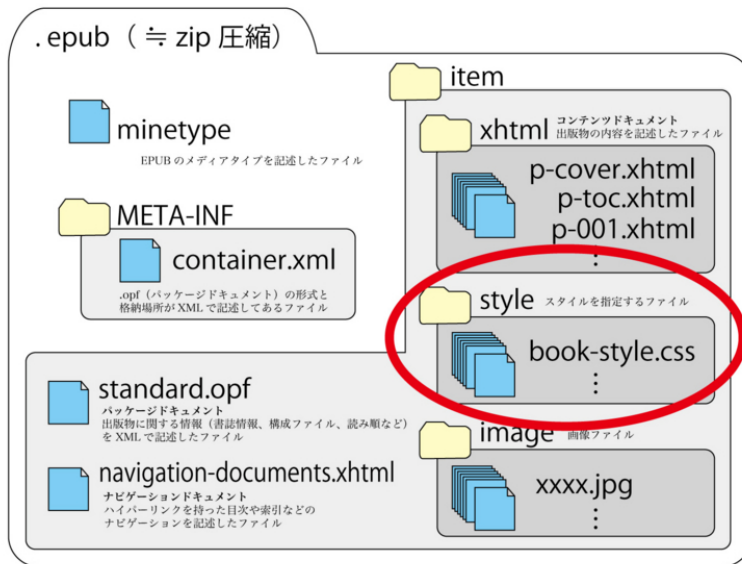
[2014 / 4 \(3\)](#)

[2014 / 3 \(8\)](#)

[2014 / 2 \(11\)](#)

検索

記事を検索



このフォルダには、拡張子が「.css」となっているファイルが複数入っています。「css」とは、フォルダ名の通り、「スタイル」をコントロールするためのファイルです。といっても「？」だと思うので、それでは実際に「コントロール」してみましょう。

スタイルをコントロール「する側」の記述

前々回に使用した「book-template - コピー」フォルダを用意してください。その中にある「styleフォルダ」を開き、その中の「book-style.css」をエディタで開きます。開いたら「tobira-midashi」で検索を掛けます。

そうすると該当箇所として下記が表示されます。

ここに下記の内容を追記します。

```
.vrtl .tobira-midashi {
```

と

}

の間に

font-size:3em;

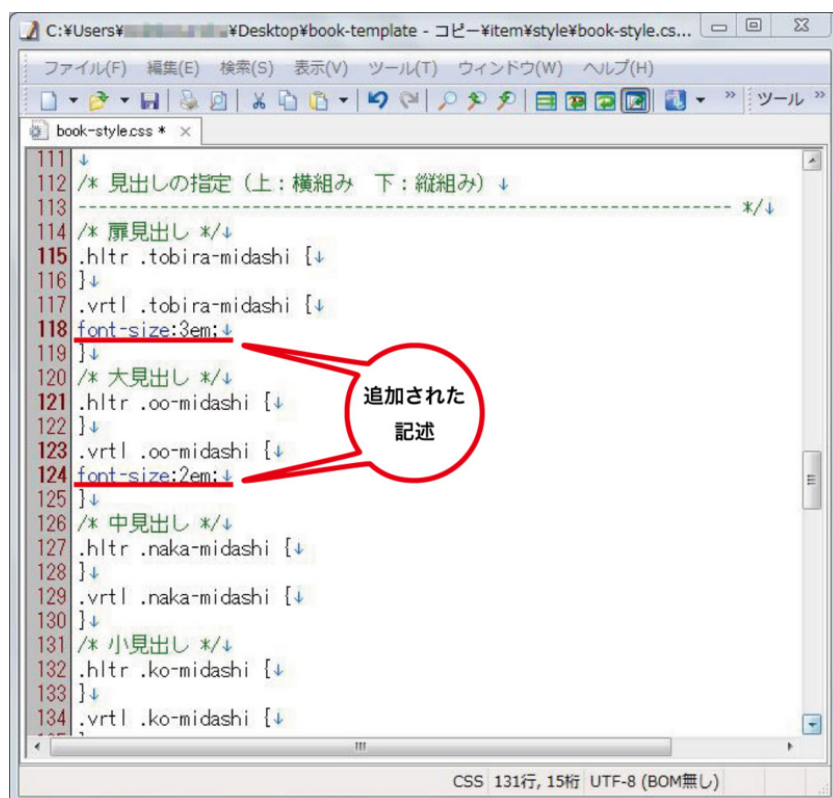
.vrtl .oo-midashi {

と

}

の間に

font-size:2em;



このようになります。

問題なければ上書き保存してください。

それでは、いま記述した内容が何なのか説明します。

font-size

とは読んで字の通り「文字（フォント）のサイズ」を指定しています。

em

とは文字サイズの単位で、基本サイズを「1em」とし、数値が大きくなるほど文字サイズも大きくなります。

上のように記述することにより

| | |
|----------------|----------------|
| スタイル名*3 | tobira-midashi |
| 指示内容 | 文字サイズを3emに |

| | |
|--------------|------------|
| スタイル名 | oo-midashi |
|--------------|------------|

指示内容 文字サイズを2emに

というスタイルが、CSSのファイルに登録されたことになります。

次にこのスタイルの指示を「受ける側」の設定をします。

今回は

- 「tobira-midashi」のスタイルを反映させるのはh1の文章
- 「oo-midashi」のスタイルを反映させるのはh2の文章

とします。

スタイルをコントロール「される側」の記述

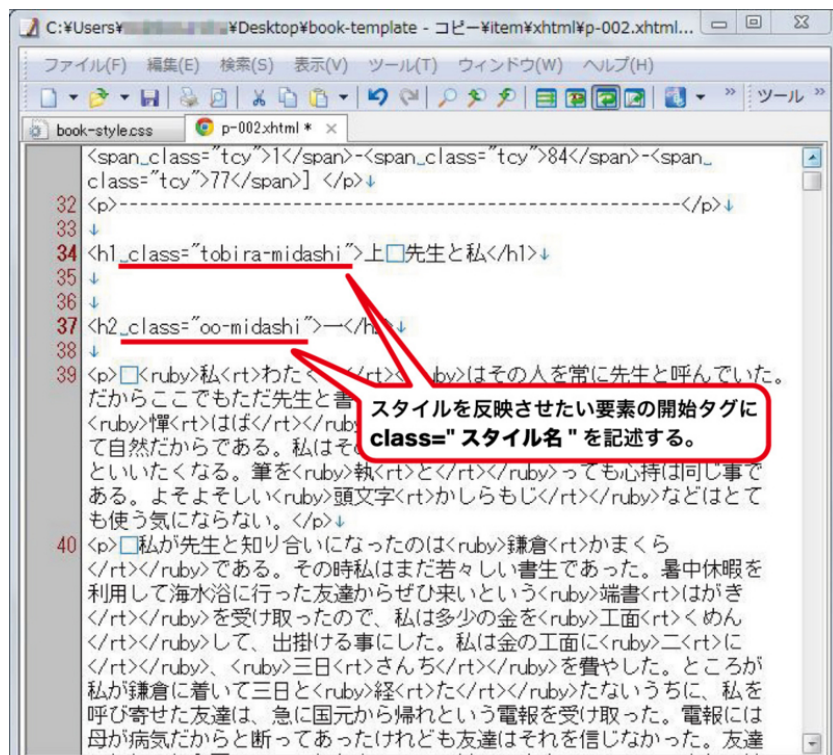
xhtmlフォルダ内の「p-002.xhtml」をエディタで開き、下記の検索置換を2回に分けて掛けます。

検索 <h1>
置換 <h1 class="tobira-midashi">

検索 <h2>
置換 <h2 class="oo-midashi">

下のようになればOKです。

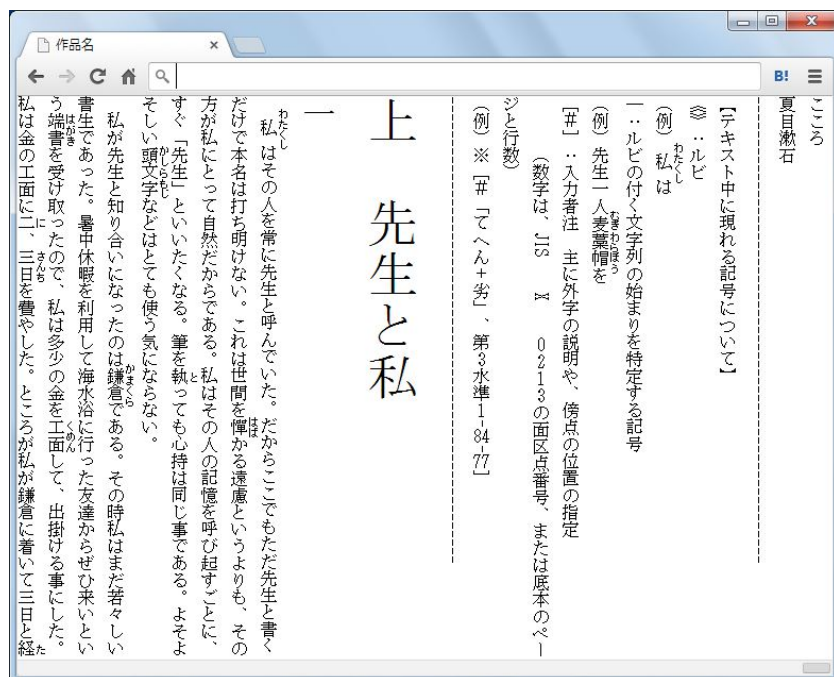
問題なければ上書き保存してください。



cssに記述したスタイルを反映させるには、上のように**反映したい箇所の開始タグに「class=「スタイル名」**と記述をします。

それでは文字サイズの指定がされた「p-002.xhtmlの見出し (h1、h2)」がどのように見えるか確認してみましょう。

p-002.xhtmlをブラウザで開きます。



見出しの文字サイズが大きくなっていることが確認できます。またh1、h2でそのサイズが異なっている（h1のほうがh2より大きい）のも確認できます。

これが「CSSに登録されたスタイルが、xhtml側のしかるべき場所（今回の場合h1とh2）に反映させた状態」です。

CSSについての知識

今回、話しの中心となった「CSS」ですが、説明としてはこれから電子書籍をつくり進めるうえで、必要最低限の内容になっています。

こちらもHTML同様、知識の積み増しをした方がより楽しく電子書籍を制作することができますし、またweb制作にも深く関係している技術なので、そちらの知識習得も兼ねて学び進めるのも良いと思います。

初心者向けの解説サイトとしては

やさしいホームページ入門：CSS入門

<http://www.ink.or.jp/~bigblock/css/index.html>

が解りやすくおすすめです。

また「CSS 入門」などのキーワードでGoogle検索して、自分に合った学習サイトを探してみるのも良いかもしれません。

そうしてCSSへの理解を深められたら、現在使っているEPUBテンプレートと一緒にダウンロードしたデータの中にある「CSS機能一覧.pdf」に目を通してみてください。これはテンプレート内で「既に設定されているスタイルの一覧」で、今後電子書籍づくりを進める際にとっても役に立ちます。

今日のまとめ

EPUBの構造。今回は

- xhtmlフォルダの「.xhtml」
- styleフォルダの「.css」

の役割について説明しました。

その関係性は

- **.css** : スタイルを登録するファイル
- **.xhtml** : **css**に登録されたスタイルが反映されるファイル

となります。

次回は

[電子書籍づくり実践（EPUBの構造 目次を作る 1）](#)についてお話しします。

[*1](#): 日本電子書籍出版協会電書協EPUB 3 制作ガイド。下記よりダウンロードできます。

<http://www.ebpaj.jp/guide.html>

その中にある「book-template.epub」というファイルの[拡張子](#)を.zipに変更し、解凍すると上図の構造を持ったフォルダが作られます

[*2](#): ここでhtmlとxhtmlの違いは意識しなくてもOKです。同じようなものと理解しておいてください。

[*3](#): この部分を正式には「class名」といいます

k_airyyu [7年前](#)



0

0

シェア

ツイート



関連記事



2014-10-25

[音声付き電子書籍を作る（iBooks用 2）](#)

電子書籍にする文章を用意する それでは音声付き電子書籍づくり...

2014-10-24

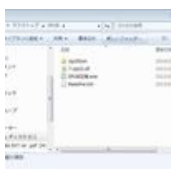
[音声付き電子書籍を作る（iBooks用 1）](#)

「電子書籍」ならではの機能＝音声 様々な電子端末で読むことが...

2014-04-01

[このブログの目次をつくりました](#)

このブログでは、パソコンやITにあまり詳しくない人でもEPUB（...




2014-03-08

[電子書籍づくり実践（圧縮とエラー確認）](#)

前回までで、EPUBテンプレートに手を入れる作業はひと通り完了...

[2014-03-07](#)

電子書籍づくり実践（書誌情報を書く）

[電子書籍づくり実践（書誌情報を書く）](#)

EPUBテンプレートを元に、ここまで電子書籍として制作を進めて...

 師子乃 

こんばんは。
電子書籍ってXHTMLを使っているんですね！

2年前 

[コメントを書く](#)

[« 電子書籍づくり実践（EPUBの構造 目次を...](#)

[電子書籍づくり実践（トラブル対応） »](#)